

(様式7)

# 健診システム開発業務内容

2024年10月

公益財団法人 山梨県健康管理事業団

# 目次

- ▶ **1. 健診システムのリプレース概要（その1）**
  - ①背景
  - ②リプレース方針
  - ③システム化の対象範囲
  - ④他システム連携とシステム化対象範囲
- ▶ **2. 健診システムのリプレース概要（その2）**
  - ⑤安全性・セキュリティ対策
  - ⑥ユーザインターフェースとアクセスビリティ
- ▶ **3. システム要件（機能要件）**
- ▶ **4. システム要件（非機能要件）**
  - ① パフォーマンス
  - ② 可用性
  - ③ スケーラビリティ
  - ④ セキュリティ
  - ⑤ データのバックアップと復旧
  - ⑥ 証跡管理
  - ⑦ メンテナンス性
  - ⑧ 拡張性
  - ⑨ 柔軟性・自由度
- ▶ **5. データ移行**
  - ①健診データ
  - ②帳票データ
- ▶ **6. システム移行と導入支援**
- ▶ **7. 新システム導入スケジュール**
- ▶ **8. 運用サポート**

## ▶ 1. 健診システムのリプレース概要（その1）

### ①背景

山梨県健康管理事業団（以下、事業団）では、2008年に旧東芝メディカルシステムズ（現キャノンメディカルシステム（株））に委託し、健診システムをスクラッチ開発で構築した。その後、（株）永産システム開発<sup>注1</sup>にシステムの改修・保守を委託し現在に至っている。

システムが稼働してから15年が経過し、システムの老朽化、開発当時の設計思想と現行業務との乖離も見られることから、今回のリプレースとなった。

注1：永産システム開発 <https://eisansystem.jp/>

### ②リプレース方針

現行システム的全データを引継ぎ、学童・学生・住民・企業向けの巡回健診業務を行えること。

また、今後想定している施設健診も視野に入れ、スムーズに機能拡張が可能であること。

### ③システム化の対象範囲

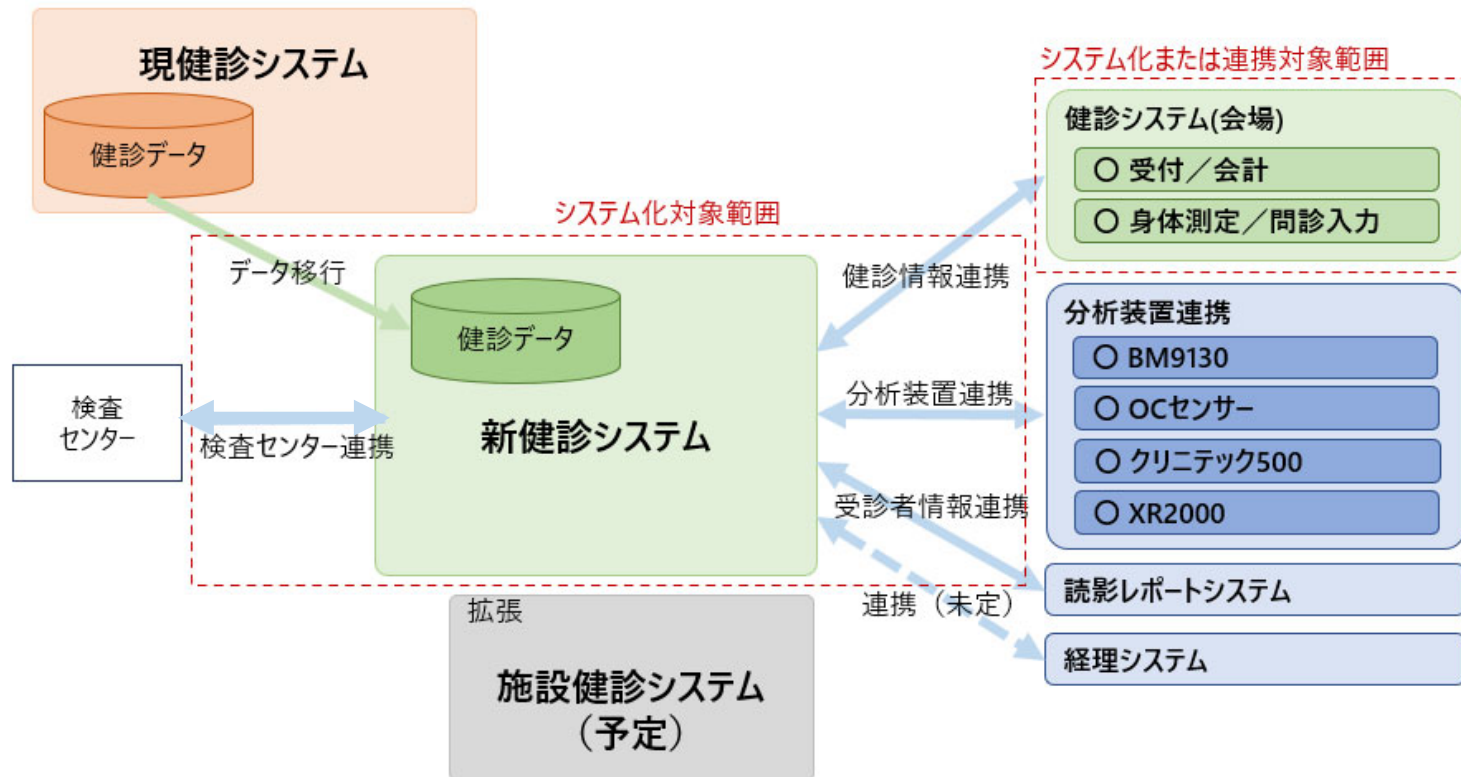
健診システム本体（協会けんぽ対応、特定健診XML対応含む）、に加え、以下の他システムとの連携をとること。

- 健診会場システム
- 検査分析装置
- 読影レポートシステム
- 検査センターとの連携

他システム連携と開発範囲は次ページ参照のこと。

#### ④ 他システム連携とシステム化対象範囲

今回のシステム化・連携対象範囲を赤点線で示します



## 2. 健診システムのリプレイス概要（その2）

### ⑤安全性・セキュリティ対策

情報漏洩、ランサムウェア等のマルウェア対策を提示すること。  
データを外部保存する場合は、その安全性も記述すること。

### ⑥ユーザインターフェースとアクセスビリティ

UI/UXデザインの基準とアクセスビリティ要件

#### ■画面の集約

主要な画面を見やすく集約することにより、画面遷移を極力少なくし操作性、認識性の向上を図ること。画面イメージ（例）は以下のとおり

#### ■直感的な操作性

操作マニュアル無しでも扱え、ユーザーが求める情報に3クリック以内で到達できるようにすること。

#### ■エラーハンドリング

エラーが発生した場合は、ユーザーが理解しやすいメッセージを表示し、問題の解決に向けた指示を提供すること。

The screenshot displays a web-based interface for a medical checkup system. On the left, there is a calendar for May 2024 with a tooltip that says '月の予定を視覚的に表示します。' (Visually display the monthly schedule). Below the calendar is a table of appointments with columns for date, time, category, and location. On the right, there is a table of appointment details with columns for appointment number, name, address, birth date, age, gender, and name. A tooltip on the right side of the table says '選択されている契約の予定受診者が一覧表示されます。' (A list of scheduled appointments for the selected contract is displayed). At the bottom, there are navigation links: 'ESC:戻る', 'F1:契約新規登録・変更', 'F2:受診者新規登録・変更', and a copyright notice 'copyright © 2024 システム開発'.

### 3. システム要件（機能要件）

「健診システム開発業務」 機能要件確認表（様式8）を参照のこと

## 4. システム要件（非機能要件）

### ① パフォーマンス:

利用ピーク時にもユーザーからのリクエストに対して平均応答時間が2秒以内であること。

### ② 可用性:

原則24h365日稼働可能とし、計画停止期間を除いては常時利用可能であること。

### ③ スケーラビリティ:

ユーザー数が現在の2倍に増加しても、追加のハードウェア購入なしで5年間対応可能であること。

### ④ セキュリティ:

システムへのアクセスは役割に基づいたアクセス権限を設定し、不正アクセスを防ぐこと。

### ⑤ データのバックアップと復旧:

データバックアップを行い、災害やシステム障害から迅速に復旧できること。

### ⑥ 証跡管理:

全ての操作やイベントの記録（ログ）を収集・保管でき、監査やシステム不具合・パフォーマンス改善等に利用できること。

### ⑦ メンテナンス性:

システムはモジュール式的设计を採用し、個々のコンポーネントは独立して更新または交換が可能であること。他システム連携はコンポーネント化を必須とする。

## 4. システム要件（非機能要件）

### ⑧ 拡張性：

将来的な機能追加や拡張を容易に行えるように設計されていること。

### ⑨ 柔軟性・自由度：

顧客の多様なニーズに柔軟な対応ができる仕組みを有すること。

例えば、健診システムとして有する情報であれば、様々な処理（判定、請求等）の処理条件として自由に（プログラムのカスタマイズなしで）使える仕組み等。



## 5. データ移行

### ① 健診データ

現行システムの全健診データ（マスタデータ含む）を全て移行する。

### ② 帳票データ

現在用いている190帳票は新システムでも同様に使えることとする。

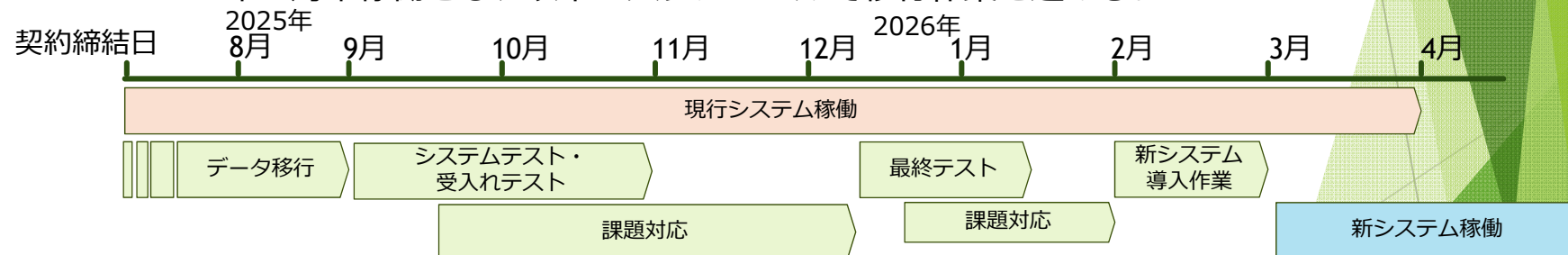
## 6. システム移行と導入支援

新システムの運用に必要な諸設定は、他システム連携も含め、システム提供側で行うこととする。

現在用いている190帳票は新システムでも同様に使えるように、システム提供側で行うこととする。

## 7. 新システム導入スケジュール

2026年3月本稼働とし、以下のスケジュールで移行作業を進める。



## 8. 運用サポート

システムの状態監視・状態管理（状態表示、アラーム通知等）機能を提供すること。

事業団からの問い合わせは、休祭日を除く月～金（9:00～17:00）とする。

なお、緊急時は上記範囲外でも可能な限り対応すること。

## 9. 操作研修

職員が十分に健診システムを理解し、操作方法を習得し、滞りなく業務を開始できるように、研修の機会を十分に設けること。

システム管理者向け、一般利用者向けなど対象者に合わせた効率的な研修プランを提供すること。

## 10. その他(その1)

現行システム提供事業者（株式会社永産システム開発 [eisansystem.jp](http://eisansystem.jp)  
担当 生方 [m.ubukata@eisansystem.jp](mailto:m.ubukata@eisansystem.jp)）との調整について

1. 健診システム本体のデータ移行に関して、事前調整をしてください。
2. 現行会場システムとの連携については、事前調整をしてください。

調整の結果、永産システム開発から提示された見積金額も入札の価格に含めること

## 10. その他(その2)

外部連携先(画像システム、レポートシステム、検査装置、外注等)との調整について

連携にあたり外部連携先から請求が発生する場合はその費用を含むこと

## 11. その他(その3)

職員が十分に健診システムを理解し、操作方法を習得し、滞りなく業務を開始できるように、研修の機会を十分に設けること。

システム管理者向け、一般利用者向けなど対象者に合わせた効率的な研修プランを提供すること。

## 13. その他(その4)

原則として既存のネットワーク、電源配線を利用できるものとする。

原則としてページプリンタは既存の物を利用できるものとする。

検査に必要なラベルプリンタは現在使用しているものに代わるプリンタを新設すること。  
新機種でも現機種の運用方法をカバーできること。

[現在の機種と台数]

- ・ 東芝テックB-SA4TP(複数列のラベル印刷)…3台
- ・ SATO L'espritVex(単列のラベル印刷) …1台

リモートメンテナンスに必要な機器、環境を用意すること。  
(既存の光回線は利用可能)

導入に関する調整全般について、極力導入業者が主体として行い、各職員の負担軽減に努めること。